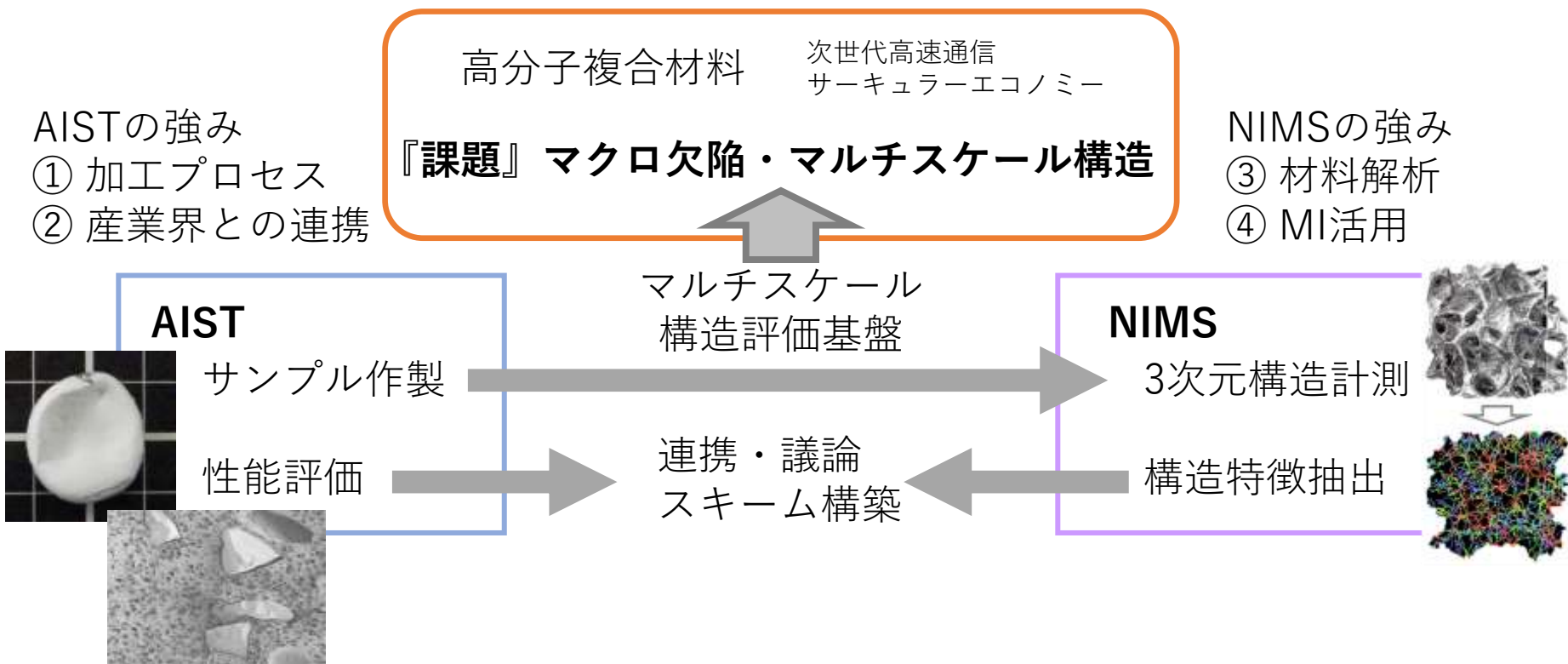


題目：データ駆動型高分子材料開発に向けた マルチスケール構造解析フレームワーク構築

調査研究代表：産総研 小野 巧

産総研代表者：材料・化学領域 化学プロセス研究部門 小野 巧

- 凝集構造やマクロポイドといった「マクロ欠陥」を含む、高分子複合材料のマルチスケール構造を評価するフレームワーク構築に向けた調査研究
- データ駆動型開発を支える基盤技術を構築し、材料開発の高速化に貢献



TIAかけはし

高分子材料の
マルチスケール構造評価

科研費
KAKENHI

高分子の階層構造制御
複合体・多孔体

コンソーシアム・技術組合
加工×材料解析×MI ⇒ 高速化・高度化



次世代高速通信向け
新材料開発

政府主導大型PJ

サーキュラーエコノミー志向
バイオベース発泡材料

【年間活動計画】

6-8月 サンプル作製

9-10月 構造計測

11-2月 画像解析・性能評価

3月 結果の議論・成果まとめ

『期待される成果』 高分子のマルチスケール構造評価基盤

『かけはし後の展開』 高分子加工プロセスへのAI利用の促進

プロセスと材料解析を融合した材料開発の加速と高度化

『人材育成』

若手研究者（小野・阿多・佐光）がPJ提案

同世代での連携強化